A 試合会場レポート

試合番号 **002**　　開催日 **2020/12/13**

令和2年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子 ファイナルラウンド　　会場： 武蔵野の森総合スポーツプラザ

観客数： 0	開始時間： 15:00	終了時間： 16:35	試合時間： 01:35	主審： 林　淳一	副審： 国頭　亮太

FC東京					パナソニックパンサーズ
1	25	第1セット 【 00:22 】	18	3	
	21	第2セット 【 00:22 】	25		
	20	第3セット 【 00:23 】	25		
	12	第4セット 【 00:19 】	25		
		第5セット 【　　】			
ポイント –		【】内はセット時間 （）内は交代選手		ポイント –	

FC東京

監　督：真保 綱一郎
コーチ：冨田 直人
通　算： – 勝　– 敗
ポイント：　–

パナソニックパンサーズ

監　督：ティリ ロラン
コーチ：ヴィンセント ピシェット
通　算： – 勝　– 敗
ポイント：　–

25	栗山	佐藤	第1セット	深津	山内	18
	（　）	（ 橘 ）		（ 清水 ）	（　）	
	手原	プレモビッチ		クビアク	久原	
	（　）	（　）		（　）	（　）	
	迫田	井上		小宮	大竹	
	（　）	（ 長友 ）		（ 白澤 ）	（ 新 ）	

リベロ： 古賀　　リベロ： 永野　伊賀

21	栗山	佐藤	第2セット	クビアク	深津	25
	（ 長友 ）	（　）		（　）	（　）	
	手原	プレモビッチ		白澤	山内	
	（　）	（　）		（　）	（　）	
	迫田	井上		清水	久原	
	（ 平田 ）	（　）		（　）	（　）	

リベロ： 古賀　　リベロ： 永野　伊賀

20	栗山	佐藤	第3セット	深津	山内	25
	（ 平田 ）	（ 橘 ）		（　）	（　）	
	手原	プレモビッチ		クビアク	久原	
	（　）	（ 長友 ）		（　）	（　）	
	迫田	井上		白澤	清水	
	（　）	（　）		（ 新 ）	（　）	

リベロ： 古賀　　リベロ： 永野　伊賀

12	栗山	迫田	第4セット	クビアク	深津	25
	（ 平田 ）	（　）		（　）	（　）	
	プレモビッチ	手原		白澤	山内	
	（ 長友 ）	（　）		（　）	（　）	
	佐藤	井上		清水	久原	
	（ 橘 ）	（　）		（ 大竹 ）	（　）	

リベロ： 古賀　　リベロ： 永野　伊賀

			第5セット			
	（　）	（　）		（　）	（　）	
	（　）	（　）		（　）	（　）	
	（　）	（　）		（　）	（　）	

リベロ：　　リベロ：

＜監督コメント＞

コロナ禍の中、天皇杯でプレーできたことに感謝しています。
準決勝までたどり着いたチーム、選手、スタッフを誇りに思います。
今日は素晴らしいスタートを切り、第１セットを取ることが出来ましたが、その後徐々に押される形になってしまいました。
チームは大きく成長していますが、このような舞台をたくさん経験し、勝ち続けるチームを目指します。
応援ありがとうございました。

＜監督コメント＞

昨日の試合を全力で戦った結果、今日の試合は疲れが見えた。
だが、白澤と清水がエネルギーと経験を活かして頑張ってくれたと思います。
今日勝てたことで、ファイナルでプレーできることが何よりも嬉しいです。
来週も精一杯頑張るので応援よろしくお願い致します。

＜要約レポート＞

天皇杯準決勝に進出したＦＣ東京とパナソニックパンサーズの対戦。
第１セット、序盤は一進一退の攻防が続く中、パナソニックのクビアクは相手コートの動きを見て攻撃をしかける形で応戦する。ＦＣ東京の手原が攻撃陣を生かすトスでチームに勢いを与えていき、佐藤の連続サーブポイントでリードを広げる。パナソニックは久原にボールを集め、流れを変えようとするも及ばず、ＦＣ東京がこのセットを先取する。
第２セット、序盤から白澤、山内のセンター攻撃が決まり得点するパナソニックに対し、ＦＣ東京は古賀の好レシーブから、井上がアタックを決めていく。中盤、パナソニックは清水のアタックや山内のブロックで優位に立つ。ＦＣ東京も長友の投入で立て直しを図るが、点差を縮めることが出来ず、このセットはパナソニックが取り返す。。
第３セット、パナソニックは清水の活躍で優位に立つと、永野の好レシーブでボールを繋ぎ、久原がアタックを決める。中盤以降もＦＣ東京は迫田にボールを集めて得点して、粘るがパナソニックが連取する。
第４セット、勢いに乗りパナソニックは久原のブロック、クビアクのスパイクで得点を重ねる。ＦＣ東京も佐藤のスパイクで流れを変えようとするが、大竹の連続サービスエースで、一気に流れを引き寄せると、最後は山内がスパイクを打ち抜き決勝進出を決めた。

作成者： 中嶋　幹朗

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。